

平成 27 年 10 月 19 日

各 位

熊本学園大学附属社会福祉研究所  
所 長 守 弘 仁 志 (公印略)

### 平成 27 年度第 2 回社会福祉研究所研究会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、当研究所では、平成 27 年度第 2 回研究会について、別紙のとおり開催することになりましたので、ご案内いたします。

つきましては、貴機関内関係の皆様にご周知いただき、ぜひご参加下さいますようお願いいたします。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

※本学には外来用の駐車場がございませんので、ご参加の際には公共の交通機関をご利用下さい。

※今後、研究会の案内を希望されない場合、もしくは送付先（住所、氏名）の誤りや変更などございましたら、お手数ですが下記担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

熊本学園大学附属社会福祉研究所

(学術文化課 担当：高岡、川邊)

〒862-8680 熊本市中央区大江 2 丁目 5 番 1 号

TEL : 096-364-5161 (代表) (内線 1763)

FAX : 096-364-5201

E-mail [shafuku@kumagaku.ac.jp](mailto:shafuku@kumagaku.ac.jp)

# 患者家族のための病気とのつきあい方

## ― 医療現場のリエゾンとソーシャルサポート ―

主催：熊本学園大学付属社会福祉研究所

◆講演◆

保坂 隆 氏

(聖路加国際病院精神腫瘍科 部長)

日時：2015年11月21日(土)

13:00～14:30

会場：熊本学園大学

4号館3階 435教室

参加費：無料

定員：100名(先着)

※定員に達した時点で受付を締め切ります。



### ポイント

医学の進歩や医療体制の変革は、医療現場をより専門化・細分化させてきましたが、この流れを押し戻し、チーム医療の重要性を改めて問いかけているのが、フランス語で「連携」を意味する「リエゾン」です。

精神科医として、がん患者と家族のために関わるリエゾンは、精神腫瘍学(サイコオンコロジー)と呼ばれていますが、今回はがんという病気をモデルにして、患者や家族は、どのように病気に立ち向かえばよいのかを説明します。中でも、すべての病気の予後(病気の今後の経過)さえも決定している「ソーシャルサポート」(身の回りにいて自分を助けてくれる人たち)の重要性について説明していきます。

※申込みは10月21日(水)から受け付けます。参加を希望される方は、電話・FAX・Emailのいずれかにより、必ず事前の申込みをお願いいたします。申込みの際はご氏名、ご所属、ご連絡先をお伝え下さい。

※本学には外来用の駐車場が十分にございません。公共の交通機関をご利用下さい。

### <申し込み・問い合わせ先>

熊本学園大学 学術文化課  
(社会福祉研究所)

月～金 9:00～17:00  
(12:30～13:30を除く)

〒862-8680 熊本市中央区大江二丁目5-1  
電話 096-364-8729(直通)  
FAX 096-366-3158(専用)  
Email: shafuku@kumagaku.ac.jp